

五島列島着地型観光情報『ゆたっと』は、五島列島の旬な観光情報を毎月お届けする情報発信メディアです。

ゆたっと

2017
10・11月号
vol.16

ゆっくりとめぐる
五島列島の旅



今月の五島の一枚

『白草公園周辺から見る矢堅目の夕陽』

奈摩湾の入口に円錐形の奇岩と複雑な海岸が続き、美しい情景を描く矢堅目公園があります。高さ120mにもなる尖った岩山の迫力には息をのむほどです。昔、奈摩湾から侵入する外敵を見張るために、矢(守備兵)で堅(岩)めたことからこの地名の由来となったと言われています。公園から見る雄大な景色や、東シナ海に沈む夕陽に感動を覚えます。対岸の白草公園からは、矢堅目をバックに沈む夕陽は、見た者にしかわからない、決して言葉では言い表す事のできない情景です。この情景を一目見ようと、多くの観光客やカメラマンが訪れます。是非、この情景を体感してみてください。

in
新上五島町

in
小値賀町

六社神社大祭

in
五島市

GOTO IS A WORLD HERITAGE ISLAND!

『五島を世界遺産の島に!』 支援コンサート

五島を世界遺産の島にするための支援コンサートを福江教会で開催します。潜伏キリシタンの信仰に重要な地である五島で、より多くの方に周知していただきたいという思いで開催が決定しました。8月には広島で盛況だったこのコンサートを、今回は五島の皆様にお届けします!

- ♪ 場所 ♪ カトリック福江教会
- ♪ 日付 ♪ 2017年10月27日(金)
- ♪ 時間 ♪ 18:30開場、19:00公演 (公演時間は1時間~1時間半を予定)
- ♪ 出演者 ♪ 戸澤真弓、森佳代子、村上敬子、長沼靖子、沖西慶子、太田伊都代
- ♪ お問い合わせ ♪ 五島市役所/政策企画課 ☎0959-72-6782

※入場料は無料ですが、世界遺産登録支援のため、献金へのご協力をお願いいたします。



SHINTO PRIEST FESTIVAL! 場所・笛吹本通り

毎年10月には、町内各地区で豊漁と五穀豊穡を祈願する秋祭りが行われます。特に14日に行われる笛吹地区の「お上り」は最も賑やかで、踊町による多くの出し物が披露され、島中から集まった多くの観光客の目を楽しませます。

発行 | 五島列島おもてなし協議会 【事務局】〒853-8502 長崎県五島市福江町7-1 (長崎県五島振興局地域づくり推進課内) 電話: 0959-72-8401

島暦 旬カレンダー

		小値賀町	新上五島町	五島市
10月 September				
1	日	毎週 月・水・土 (朝7時頃~) ○「あい菜市」※野菜の朝市 場所: 小値賀港近く 時間: 朝7:00頃~	●若松ふれあい朝市 (場所: 若松商店街通り) ●【大会】新上五島町地区対抗SP ソフトボール大会 (新魚目グラウンド)	●福江みなとまつり (ねふた巡行) ●「中秋の名月」観望会
2	月			
3	火			
4	水			
5	木			
6	金			
7	土			
8	日		●高船三井客船株式会社「にっぽん丸」寄港 (相河崎岸壁) ●奈良尾日曜朝市 (奈良尾神社 あごう樹横) ●新上五島町民スポーツまつり (新魚目総合体育館) ●町内こども相撲大会 (新魚目総合体育館)	●「中秋の名月」観望会
9	月	五穀豊穡を祈願する秋祭り 日時: 平成27年10月9日~平成27年10月25日 場所: 各地区		
10	火			
11	水			
12	木			
13	金			
14	土			
15	日		●第12回 上五島教会めぐりウォーク&クルーズ ●健康まつり&上五島病院フェスタ (新上五島町石油備蓄記念会館&上五島病院)	●富江神社例大祭 ●魚津ヶ崎コスモスまつり ※荒天時は10月22日に延期 ●御本尊千日大祭 大宝寺
16	月			
17	火			
18	水			
19	木			
20	金			
21	土			
22	日		●高船三井客船株式会社「にっぽん丸」寄港 (相河崎岸壁)	●桜島神社例大祭 (22日まで) ↓ ●奈留神社例大祭
23	月			
24	火			
25	水			●ぼしふいっくびいなす 福江港入港
26	木			
27	金			
28	土		●新上五島町民文化祭 前夜祭 (新上五島町石油備蓄記念会館) ●高船三井客船株式会社「にっぽん丸」寄港 (相河崎岸壁) ●新上五島町民文化祭 (新上五島町石油備蓄記念会館)	●「五島を世界遺産の島に!」支援コンサート 福江教会
29	日			
30	月			
31	火			
11月 October				
1	水			
2	木	毎週 月・水・土 (朝7時頃~) ○「あい菜市」※野菜の朝市 場所: 小値賀港近く 時間: 朝7:00頃~	●青方神社・子供相撲大会 (青方神社 境内)	
3	金			
4	土		●若松ふれあい朝市 (場所: 若松商店街通り) ●第16回 五島・有川くじらどん祭り (五島うどんの里&緑地広場)	
5	日			
6	月			
7	火			
8	水			
9	木			
10	金			
11	土	●少年の主張発表大会、町民文化祭 (展示の部)		●せっかくウォーク ●第33回長崎五島ツーデーマーチ (12日まで) ●第4回Handmade market inGOTO 10:00~16:00 (12日まで)
12	日	●町民文化祭 (展示・上演の部)	●奈良尾日曜朝市 (奈良尾神社 あごう樹横)	
13	月			
14	火			
15	水			

観光情報などのお問い合わせ先

- 五島市 五島市観光協会 ☎0959-72-2963
- 新上五島町 新上五島町観光物産協会 ☎0959-42-0964
- 小値賀町 おぢかアイランドツーリズム協会 ☎0959-56-2646



万見歳所

今、見るべき島の旬

五島市

Handmade market inGOTO ~五島手づくり市~

今年で第4回目となる五島手づくり市が11月11日(土)、12日(日)《10:00~16:00》に開催されます。毎度1,500名の来場者が訪れ好評！また、今回からは市民体育館サブアリーナでの開催となりますので、前回よりも多くのお客様の来場が見込まれます。アクセサリーや服などの手づくりの商品の販売や展示、地元の飲食店からの出展と、盛りだくさんの内容で皆さんのご来場をお待ちしております。

《問い合わせ先》ハンドメイドマーケット実行委員会事務局 担当ポー麻梨絵 (五島市観光物産課内) ☎0959-74-0811



新上五島町

有川捕鯨関連文化遺産

新上五島町有川地区の捕鯨の歴史は、慶長年間に始まったといわれ、約400年の歴史を持っており、今でも有川鯨組の名残や、有川捕鯨関連の文化遺産を見ることができます。これらの有川捕鯨関連文化遺産は、平成18年に水産庁の「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選」に選ばれました。この有川捕鯨関連文化遺産を含め、有川の捕鯨の歴史を感じることができる史跡等は、有川港周辺に集中しており、約30分~1時間程度でゆっくりご覧いただけます。秋風を感じながら、ゆっくり楽しいウォーキングで、有川捕鯨の歴史に思いをはせてみてはいかがでしょうか？

《有川捕鯨関連文化遺産 構成資産》



1. 鯨見山と鯨供養碑

江口甚左衛門正利により有川鯨組が創業され、鯨見の番人が鯨の状況を見張り、そこから有川湾内に鯨が入って来たことを狼煙をあげて知らせたり、出漁の合図などを行っていたのが鯨見山です。山頂付近には、1712年に江口甚左衛門正利によって建立された捕鯨実績を刻んだ「鯨供養碑」と「夜明」「十一面」の二観音石仏があります。現在も、山見小屋が置かれていた場所に展望所が建てられています。



2. 海童神社

元和3年~元和5年(1617~1619)の3年間、子供と大人の網子多数が水難事故でこの世を去るといふ事故が起きたと言われていました。その時の乙名役、高井良福衛門の枕元に海童神の神託があり、それに基づいて元和6年(1620)に応護島に石の祠を建て奉納し、毎年7月下旬の日曜日に「十七日祭り」という芝居を奉納するお祭りが行われております。入口の鯨の顎骨で作られた鳥居が有名です。



3. 弁財天宮

今から約300年前、江戸時代の初期、五島藩有川と富江藩魚目が有川湾の海境争いの際、江口甚左衛門正利が江戸公訴の道中に鎌倉弁才天に勝訴祈願をしたところ、有川側の勝訴で決着したことから、その分霊を有川鯨組の守り神として祀ったお宮です。有川郷内の事業所や家庭などを回り、大漁と航海の安全、商売繁盛に家内安全を祈願する「弁財天まつり」が、現在は1月の中旬頃行われております。



4. 原真一顕彰碑

原真一は、明治38年(1905)長崎に「富田屋」を開店して、中国貿易、捕鯨業(ノルウェー方式捕鯨)などをはじめ、不振に陥った五島捕鯨会を吸収して、失業する郷土の従業員を残らず雇入れ、また有川村救済資金を設けて村民の生活を助けるなど、郷土の発展に尽くしました。有川の近代捕鯨において大きな功績を残し、顕彰碑が建てられています。



五島市

大瀬崎トレッキング



五島列島を代表する観光名所である大瀬崎灯台は、『日本灯台50選』のひとつでもあり、日本屈指の光達距離を誇っています。灯台までの道は、大瀬崎駐車場から往復約3km、片道約30分の道を進みます。また、9月下旬から10月上旬は、大型のタカ『ハチクマ』が越冬のためアジア方面に南下する『渡り』が見られ、愛鳥家の方々にも人気のスポットです。

小値賀町

姫の松原



小値賀島の中央、学校が並ぶ通りを抜けると、約400~500mにわたり空まで覆いつくすほどの松並木が連なっています。日本の名松百選と新・日本の街路樹百景に選定され、途中には礎石と志々伎神社があります。港ターミナルより自転車より約20分。

小値賀町

地の神島神社



地ノ神島神社(ちのこうじまじんじや)は、前方湾に向かって立つ神社です。慶雲元年(704)には対岸の野崎島に沖ノ神島神社(おきのこうじまじんじや)が分祀されています。遣唐使船団の航海の安全を祈って創建されたとも言われています。

五島の自然海塩が、甘いカスタードを引き立てる塩プリンが人気の五島なたけファームから、ワインゼリーが新発売！今年の8月中旬から販売開始したワインゼリーに使用しているのは、五島ワイナリーが真心こめ吟醸したワイン！芳醇な香りとさっぱりとしたワインのゼリーです。五島が詰まった新商品をぜひ味わってみてください。

《問い合わせ先》五島なたけファーム ☎0120-802-402

五島市

ワインゼリー



食必材食

今、島で食べるべき食材



新上五島町 鯨料理

新上五島町の有川地区では、捕鯨の歴史は古く、約400年前に始まったと言われております。商業捕鯨が禁止となり、有川湾でも鯨漁がなくなった今でも地元ならではの食文化として、さまざまな鯨料理が受け継がれており、特に有川地区においては、冠婚葬祭の時には欠かすことができない一品です。

《食べる事が出来る店》新上五島町内の飲食店

※飲食店の中には、取扱っていない店もあり、要予約の場合がございますので、事前にお尋ねください。

小値賀町

おぢか島の落花生とうふ

長崎県は全国一位「島」が多い都道府県として知られており、美しい海に囲まれた島々が数多く有ります。その島々では豊かな自然に抱かれ、海風に鍛えられた大地で、美味しい恵みの産物が育まれます。おぢか島の落花生も、島の豊かな恩恵を受けながら栽培されており、すべて島内で栽培された原料のみを使って、長年ごまとうふ製造を行ってきている法本胡麻豆腐店の協力を得て商品化しました。保存料や着色料等の食品添加物は使用することなく、レトルト加工により常温保存が可能となり、お土産としての携帯性向上を実現しました。皆様のご愛顧のおかげで数々の賞を受賞させて頂いております。

《問い合わせ先》(一財)小値賀町担い手公社 ☎0959-53-3344/www.ojika.jp



第16回 五島・有川くじらどん祭り

in 新上五島町

新上五島町の有川地区は江戸時代より捕鯨を基礎として繁栄してきましたが、商業捕鯨禁止後は地域の自然条件を効果的に活かした第1次産業の町として発展を続けてきました。平成5年度に町内の産業団体や事業所、並びに各種団体のもと町民総参加のイベント「有川町産業まつり」として産声を上げ、この祭りを通して、商業捕鯨再開へのアピールと、地場産品を通して産業振興をはかるとともに町民相互の親睦を深め、町の活性化につながることを目的に開催しております。今年も、鯨肉の販売をはじめ五島手延うどんや地元漁港で水揚げされた新鮮な魚など、たくさんの新上五島町特産品が販売されます。また、活魚のつかみ取りや、有川羽差太鼓をはじめとする楽しいステージイベントも行われますので、お問い合わせの上ご来場ください！



開催日時：平成29年11月5日(日) 10時00分~13時00分 / 開催場所：五島うどんの里&緑地広場
主 催：五島・有川くじらどんまつり実行委員会 / 共 催：新上五島町
内 容：新上五島町特産品の販売(約30団体)、鯨肉の販売、活魚のつかみ取り(小学生対象)、ステージショー、先着100名様うどん1束無料贈呈、鯨カレーの配布など
お問い合わせ先：五島・有川くじらどん祭り実行委員会(有川町漁業協同組合内) TEL: 0959-42-0019